

2026 年 9 月 28 日

北海道電力の苫小牧・厚真地域における LNG 基地整備に係る基本設計の受注・開始について

東京ガス株式会社

東京ガス株式会社（社長：笹山 晋一、以下「東京ガス」）は、このたび、北海道電力株式会社（社長：齋藤 晋、以下「北海道電力」）が計画する苫小牧・厚真地域における大型外航 LNG 船の受入れを見据えた LNG 基地整備について、基本設計を受注・開始しました。

本基地整備計画は、北海道電力が将来的な北海道の電力需要の増加への対応と電源の脱炭素化を両立するため、脱炭素化を見据えたトランジション電源として次期 LNG 電源の設置および大型外航 LNG 船を受け入れる LNG 基地の整備を検討しているものです^{*1}。

今回開始する基本設計では、これまで北海道電力が実施してきた実現可能性調査を踏まえ、LNG 基地に関する設備の構成・配置・建設工程および建設費の算定など、具体的な検討を進めます。これまで東京ガスが LNG 基地の建設・運営を通じて培ってきた技術力およびエンジニアリングに関する知見を活用することにより、北海道電力の LNG 基地の事業化に貢献します。

東京ガスは、グループ経営ビジョン「Compass2030」で「LNG バリューチェーンの変革」を掲げています。今後もこれまで培った技術や知見を活用しながら、エネルギーの安定供給とカーボンニュートラル社会の実現に貢献します。

*1：[北海道電力プレスリリース「北海道苫小牧地域を起点とした新たなエネルギーサプライチェーン構想について」](#)（2026 年 1 月 30 日発表）

以上